

NJ 素流協 News

令和 7 年 7 月 10 日

第 246 号

令和 7 年 7 月 10 日発行・発行所 ノースジャパン素材流通協同組合 〒020-0024 盛岡市菜園 1 丁目 3-6 (農林会館 5 階)
TEL 019(652)7227 / FAX 019(654)8533 / <https://www.soryukyo.or.jp>

ノースジャパン素材流通協同組合 令和 7 年度地区別組合員会議開催

NJ素流協は令和 7 年度地区別組合員会議を開催しました(各会場の出席者数は表のとおり)。

25 日の大崎市会場の開会にあたり、鈴木理事長が次のとおり挨拶しました。

令和 7 年度 地区別組合員会議出席組合員数

会 場	出席組合員数	出席人数
6/25 大崎市	15	18
7/ 1 住田町	21	28
7/ 3 七戸町	15	23
7/ 8 一戸町	19	21
7/10 能代市	9	12
計	79	102

「お忙しい中、お越しいただきありがとうございます。さて、現在の国産材の状況は、市況商品からの脱却ができていないところがポイントで、価格・数量の乱高下で利益を得

る体質からなかなか抜けきれていないように思います。メーカー希望小売価格が出せる業界は、リーダー企業がしっかりしている、一定のシェアを持つている点がポイントですが、合板、集成材、製材業界ともに、主導できるリーダー企業はまだ出てきていないように感じます。今、備蓄米問題がありますが、木材の場合は、ずっと外材と戦ってきているので、国産材の需給というよりも、外材の影響を深く受けています。しかしながら、国産材時代を迎えて、素材生産業界も力をつけていかなければなりません。そのために、皆様方の設備の状況等も見ながら、従業員の若返りや働き方をサポートしていくことがノースジャパン素材流通協同組合の仕事だと思っていますので、様々なご要望をいただければと思っています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。」

1. 話題提供

「令和 7 年度地区別組合員会議 今年度の話題」

各工場の納入アンケートの状況を見ると、昨年度と異なり、納入できる日がたくさんあります。

そして、令和元年度と昨年度の出荷量データを比較して見ると、合板・LVL用カラマツの供給量が大きく伸びているという点が大きな違いです。これはやはり、外材の米マツから国産カラマツへの切り替えが大きな影響を与えたのではないかと思います。

ここから、国産材業界の現状はどうなっているのか列挙して見ていき



鈴木理事長挨拶(大崎会場)

ます。

▼現状（総体）

✓新設住宅着工戸数が減少している
ので、国産材供給も減少するのでは
ないかと言われていますが、そんな
の関係ねえ（某芸人？）。

✓住宅着工戸数が減少しても、製材・
集成材・合板の自給率はまだ50%台
なので、外材が国産材に切り替われ
ば使用量はもつと増える。

✓大手住宅メーカーの木造軸組比率
が高まっている。

✓非住宅分野の木造化で、高層ビル
の木造化が進んでいく。平屋倉庫も
やつと一般製材によるトラス構造が
進んできた。

✓アルミサッシから木製サッシへ。

✓大手川下が川中へ進出。

▼現状（分野別）

合板

✓ロシア単板離れで、カラマツ丸太
の需要が安定、冬場の北海道丸太船
便は不安定のため、東北・地元のカ
ラマツ需要は強い。

✓米マツの高値が続き、フェイスと
バックがカラマツで、中がスギの合

板の需要が根強い。

✓長尺合板、薄物合板（9mm）の国
産材化で、アカマツ、カラマツの需
要が増えている。

集成材

✓最も外材製品のシェアが高く、国
産材化の期待が大きい分野。

✓工場は、大型設備投資で減価償却
分を稼ぐ必要があり、フル稼働。

✓特に、スギの管柱は順調だが、横
架材をどう国産材化するかがポイン
ト。

針葉樹製材

✓ロシア材、米材離れで、間柱・小
角スギ・アカマツ利用へ。

✓建築基準が変わり、4号特例が縮
小し、人工乾燥やJAS材利用が増
加

✓2×4ディメンションの一定比率
を国産材にという動きあり。

✓ラミナ：他地域のカラマツの強度
不足で、東北産カラマツの需要が増
えている。

✓杭材：地中土木杭のカーボンストッ
ク効果で、カラマツ、スギ3mのニー
ズがさらに増加。

✓土台：米ヒバからヒノキへの転換
の動きがあるが、ヒノキの少ない北
日本はどうするかがポイント。

✓枕木：アピトン・ケンパスの輸入
がクリーンウッド法の影響を受け、
クリが高騰。

✓造作材：スプルスに代わりスギ
柁平が好調だが、出荷が少なく、丸
太在庫が不足。

✓梱包材：NZラジアータパインの
日本市場での世界的シェアが低下し、
スギヘシフト。

広葉樹製材

✓洋酒樽：ウィスキーで有名な会社
が旭川へ進出することで、ナラ材の
需要はさらに高まる

✓外材代替：ナラ、クリ、オニグル
ミ、ヤマザクラは好調続く。

✓今後需要が増大しそう：サワグル
ミ、ハンノキ、ホオノキ、ミズキ

✓欧米への家具輸出始まる：ケヤキ、
セノキ

原料材

✓円安で海外チップ・PKSが値上
がりしているため、国産材の需要大。
✓青森、岩手3か所、秋田2か所、

山形3か所にバイオマス工場新設で
需要がさらに増大。



組合員会議の様子（大崎会場）

▼今年度の見通し（皆様への依頼）

①大型工場の冬伐り材在庫が極め
て少ない状況です!!よって、夏伐
り材の要望が強まります。虫食い、
青が入らないよう、早期出荷を心
がけましょう。

②カラマツの供給要望が継続!!合
板用18cm上、製材用14、16cm、杭
用8、14cmの需要があります(杭
材の場合、先端部はハーベスタ等
で2回枝払いし、3mにするか4
mにするかは要相談、民有林境木
カラマツも活用可能)。

③アカマツの夏場供給要望は継続。松くい虫未被害地は供給が減る分期待が高まります。合板中芯に使う単板用は夏場でもOK。

④スギ集成材用は、工場土場在庫が少なく、積極的に出材依頼があります!! 4mはどこも問題なし。2mは制限があるので極力4m採材で(ただし、2m専用工場は丸太不足)。

▼今年度の見通し(分野別依頼)

スギ合板・LVL用材

✓4mと2mの比率が大事なので、集成材工場の動向を観察しながら情報共有していきたいと思います。

スギ製材用

✓質の問題がない丸太は製材所向けを紹介。

✓4m中心の採材なので、3・65m、3mを必要とする工場は不足(材質クレームがつかないようマッチングに努めます)。

スギ高齢級材

✓明らかに不足しています。スギ80

(70)年生以上で、節無し、目詰まり(特に辺材)、色が良い元玉・2番玉だったら要相談。

✓100年以上は、多少欠点があってもまずはご相談ください。

スギ・カラマツ立木細材

✓国道・市町村道脇で全く除伐・間伐していない細い立木は、今そういつた山が無いので、利用価値アリ。利用先を考えるのでご相談ください。

ヒノキ

✓西日本の合板工場はフェイスバック、中芯もヒノキ利用が多い。船便で東北まで運んでいる合板工場もあります。ご相談ください(トドマツ、ドイトウヒ等も出そうな場合はご相談ください)。

原料材

✓樹種別、24円・32円材単価は工場によってバラつきがあり、運賃を考えて選択も可能です。もっと高く売れるかな?と思う場合はお問い合わせください。

✓バイオ用が不足しているので、林道脇に短コロ、末木枝条がたくさんある場合は、林道脇山元販売マッチ

ングできる場合もありますのでご相談ください(特に全木・全幹集材は喜ばれます)。

✓きのこ用おが粉が工場で不足中です。製紙用とは丸太規格が違うので、組合から情報をお伝えします。

広葉樹

✓用材の最小径級が低下しているの、20cm上でも用材と、認識を変更。

✓用材は基本有尺の方が高い。2・2m(2・1m)にこだわらず、直材のところで採材をおすすめします(通常1・8m以上なら用材です)。

✓熱量が出るので広葉樹の短コロ、末木枝条も、バイオ用が必要です。

✓ヤマザクラ、リンゴ、ブナ、ナラのみ場合は別途価格もあります。

枕木用

✓クリ、ヒバはご相談ください。

長級・径級指定ありますが、伐採・玉切り後、一定期間経過しても大丈夫です。

2. 令和7年度事業計画

詳しい内容は先月号の特集をご覧ください。

3. 令和7年度主要事業

森林再生、技術指導と調査研究、情報提供に関する事業

▼再生基金による再造林の推進

岩手県森林再生基金事業の令和6年度協力金総額は26・8百万円で、岩手県に關係する当組合員のうち102名が協定を行っています。また、当組合は、青森県の「青い森づくり推進基金」に対しても再造林協力金の拠出を行っています。

▼引き続き漆採り原木を探しています

漆採り用の原木は、太さ20cm程度ものが利用され、立木のままで約2千円/本の価格(漆の採取権)で取引されます。



組合員会議の様子(住田会場)

国産漆は、日本の文化や歴史を支える素材であり、文化庁の方針として、国宝や重要文化財などの修理・修復には必ず使用することとされました。まとまったウルシ林がありましたら、漆掻き職人を紹介しますので、情報提供をお願いいたします。

▼伐採・搬出・再造林作業ガイドライン

令和4年6月27日に、伐採搬出・再造林ガイドライン全国連絡会議が設立され、毎年「伐採搬出・再造林ガイドラインサミット」を開催して、森林資源の循環利用、再造林の担い手対策、ガイドラインの遵守について、全国からの参加者による意見交換が行われています。今年度は10月3日に秋田県で開催予定となっております。

森林の伐採にかかわる業界として、主伐後の再造林率を上げるために、関係者の意識醸成を図りつつ、今後意見交換して参ります。

▼森林経営管理法第36条に基づく林業経営体（意欲と能力のある林業経営体）の認定

東北各県で公募と認定が進んでいます。国の補助を受けやすくなる等のメリットがあり、組合員の認定申請をサポートしていきます。

▼鳥獣害拡大防止のためのシカ等の出没情報の収集に関する取組

シカ目の目撃情報の登録にご協力願います。「シカ情報マップ」で検索し、ホームページにアクセスすると必要事項が入力できます。

▼山火事予防について

今年の2月に岩手県大船渡市で大規模な森林火災が発生しました。野外での火の取り扱いには十分注意しましょう!!

①火入れ

森林又はその周囲1kmの範囲内で立木竹、雑草、堆積物等を面的に焼くことは、「火入れ」とみなされ、市町村長の許可が必要です。火入れは、地拵え・開墾準備、害虫駆除・焼き畑・牧草の改良に限って許可を受けることができます。

②野焼き

枯草や廃棄物を焼却する野焼きは

原則禁止!

③たき火

たき火、その他日常生活を営む上で通常行われる軽微なものであっても、消防署へ「火災とまぎらわしい発煙の届け出」が必要です。

許可や届け出をしても、強風時及び乾燥時には、たき火、火入れ、野焼きをしてはいけません。

▼再造林促進奨励事業

組合員による再造林を促進するため、再造林経費の一部を助成する再造林促進奨励事業を引き続き行います。

▼海岸防災林再生活動の実施

仙台森林管理署との協定に基づく海岸防災林「ノースジャパン100年復興の森」について、今年度も保育管理を実施する予定です。日程が決まりましたら発信いたします。

▼いわて林業アカデミー就業体験

研修生を採用する考えがあり、就業体験研修の受け入れに協力いただける事業体を随時募集します。

【研修期間】

前期…10月14日（火）

10月17日（金）

後期…11月25日（火）

12月5日（金）

お問い合わせは経営企画課 野田までお願いいたします。



組合員会議の様子（七戸会場）

▼林業用種子（カラマツ）の確保協力

カラマツ種子の不足に対応するため、カラマツ球果採取と種子の提供に引き続き取り組みます。

種子の採種期間は9月1日～中旬までと適期が短く、6月中旬頃から実がなるので、綺麗な緑色の球果があったら情報提供をお願いいたします。

▼原木トラック運送効率化

令和7年度も、東北地区原木トラック運送協議会と連携し、要望陳情活動等を継続的に行います。

また、原木運送事業の事故防止、労働安全・環境保全に必要な事業、協議会会員の拡大を図る取組を実施します。

▼研修会等の実施

【現時点での実施予定の内容】

●第2回林業経営講座

10月6～7日…林業機械展及び製材工場等の視察（宮城県石巻市）

●海外視察研修

11月8～14日…素材生産現場等の視察（ニュージールランド）

・今年度も、組合員の役職員等が自らの技術・知識の向上を目的として研修会に参加した場合や外部講師を招聘して社内研修を実施した場合等に費用の一部を助成します。

・伐木等機械の運搬業務、走行集材機械の運搬業務、簡易架線集材装置等の運搬業務の3区分について、林災防各県支部で開催する特別教育講習会を定員漏れ等により受講できない組合員が多数いる場合に、NJ素流協として特別教育を開催します。

▼労働安全衛生について

例年、チェンソーによる伐木作業中の災害が多発していますが、最近は、現場の機械による災害も発生しています。無料で申込みできる安全診断等を活用いただき、安全衛生の取り組みを引き続きお願いいたします。

▼青年部会について

現在会員数は正会員24名、賛助会員21名で、新規会員を継続募集しています。会員の知識・技術向上を図る研修や交流事業等の取り組みを行います。

トピックス

東北地区原木トラック運送協議会 林野庁表敬訪問・原木輸送トレーラ工場視察を行いました

当組合が事務局を務める東北地区原木トラック運送協議会（松田光治会長）は、課題としている「原木

木運送の効率化」を目指し、6月16日～18日に、林野庁国有林野部の表敬訪問及び愛知県豊川市の日本トレクス株式会社、神奈川県相模原市のマルマテクニカ株式会社の工場視察等を行いました。

●林野庁国有林野部 真城部長を表敬訪問

原木運送の現状と今後の方向性について、業務課、木材産業課、整備課、各担当の方々に同席していただき意見交換と要望活動を行いました。



林野庁への表敬訪問は5年ぶり

●日本トレクス株式会社（本社・音羽工場）

トレーラ、トラックボディ、コンテナ等、多彩な輸送機器を開発しており、原木運送用トレーラの開発について工場を視察しました。

その中で、西日本と東日本では運送条件（トラックの大きさ・走行距離・季節）等が異なることから、東北地域に合ったトレーラ開発について情報交換が行われ、原木流通の効率化に協力いただけるよう要望しました。

●マルマテクニカ株式会社（本社・相模原工場）

建設機械の整備・製造・輸出・輸入事業を展開する企業で、輸入した機械を自社独自のノウハウを用いて、「マルマブランド」として耐久性・操作性の高い製品開発を行っています。

原木用グラップル等の開発も行われており、東北地域では、原木運送に必要不可欠な原木用グラップルであり、様々な条件下に対応できるより良い機械の開発をしていただくよう意見交換を交えて要望しました。

N J 素流協青年部会 第7回通常総会を開催

N J 素流協青年部会は、6月21日、滝沢市のツガワ未来館アピオにおいて第7回通常総会を開催し、会員28名が出席しました。

議事では、令和6年度事業報告、令和7年度事業計画について原案どおり承認されました。

また、総会開催前には、8月3日に開催する『第5回げんき森林（モリ）モリフェスティバル』の現地説明会を行い、会員、出展協力メーカー等の参加者が開催に向けて活発な意見交換を行いました。

工場視察の様子

日本トレクス株式会社(写真上)
マルマテクニカ株式会社(写真下)



職場の熱中症対策が 義務化

罰則もあるので「注意を！」

令和7年6月1日に、労働安全衛生規則が改正され、職場における熱中症対策が義務化されました。

▼義務の対象となるのは…

W B G T（暑さ指数）28度または気温31度以上の環境下で、連続1時間以上または1日4時間以上作業を行う場合が対象。

▼義務の内容

①報告体制の整備

熱中症の自覚症状を有する場合や、熱中症の疑いがある者を見つけた場合に、その旨の報告をする体制を整備。

②実施手順作成

作業からの離脱、身体の冷却、医師の診察又は処置を受けさせる等、熱中症の症状の悪化を防止するために必要な措置・実施手順を定める。

③関係業者への周知

①と②の内容を周知する。

以上のことが義務づけられ、対策を怠った場合は、6か月以下の拘禁刑、または50万円以下の罰金が科されます。

厚生労働省では、フローや具体策といった詳細をまとめていますのでホームページをご覧ください。熱中症予防に努めましょう！

厚生労働省HP
職場における熱中症予防情報

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>



お知らせ

カラマツ種子
見分ける時期は今!!

N J 素流協では、カラマツ苗木生産に寄与するために、球果採取を行っています。

球果確保のためには、「鮮やかな緑色で、鱗片が開いていない状態

の球果」が必要になりますが、ここ数年、温暖化の影響でカラマツ球果の開きが早くなっています。古いもの（茶色の球果）なのか新しいものなのかは、まさに今が判別しやすいです！

鮮やかな緑色で、成長途上の大きさの球果を見つけましたらN J 素流協まで情報提供をお願いいたします。

第5回げんき森林モリ
フェスティバル 今年も開催!!

ノースジャパン素材流通協同組合青年部会が主催する林業普及啓発イベント「第5回げんき森林（モリ）モリフェスティバル」を開催します。詳細はHPをご覧ください。皆様の参加をお待ちしております！

【日時】令和7年8月3日（日）

10時00分～15時00分

【会場】ツガワ未来館A p i o

岩手産業文化センター

第2屋外展示場

ちよつと気になる木の話

108

**世界で持続可能性、
生物多様性が叫ばれる中**
ー日本は最先端リーダーだが、
世界への情報発信は無し?ー

地球温暖化対策の環境問題の発信は常にEU主導が多い。その方向性に合わせて、日本も対応をとる必要があるとの様々な方策が打ち出されてくる。日本は、世界に対して遅れている?後進国?

先ず、持続可能な森林経営で、何が世界的問題なんだろうか?気象変動による大規模火災や砂漠の拡大、病虫害の拡大か?一番は、大規模農地開発等による森林の減少にある。日本の森林率という点、変動はほとんどないと統計上でも明確に言える。ましてや、地目が農地となっていて、耕作放棄地等は、木が生えて林地化している。加えて、日本は降水量・気温も樹木の生育には問題がない。世界の森林率の順位を見ても、日本は最上位にある。

もちろん、人工林伐採の再造林率(利用資源の持続可能性)の問題はあるが、世界の維持可能性問題とは異なると言える。小規模の山林所有者が極めて多い特異性があるにもかかわらず、森林簿、伐採届等の台帳・手続きもしっかりしている。林地開発許可制度も機能している。水害・地すべり等により、林地崩壊した場所は、治山工事による緑化も行われていることは、当然の事実である。よって、インバウンドでみえる外国人観光客も豊かな緑の列島であると口を揃えて感想を述べる日常である。

生物多様性をみてみよう。日本の野生動植物保護保全の大事な場所、環境省の指定エリアとなっている。国立公園、国定公園、都道府県公園等で指定区分ごとに細かく定められている。林野庁でも、保安林制度の下、指定区分ごとに施業制限・方策について細かく定められている。しかも、中間山村地域の人

口減少から人間住居エリアとの境目がわからなくなり、野生動物の人間住居地への出没も増加している。更に、狩猟免許を持った人々の数も減少の一途である。もちろん、絶滅危惧動物や外来動植物問題があることは日本でも事実であるが...

ここからが本題である。日本の森林の持続性生物多様化の政策の実態は、世界的に発信されているだろうか?である。日本の施策は、個人財産である造林への国・県・市町村の助成制度、治山事業による個人負担なしの森林整備事業、鳥獣狩猟禁止エリア、可能解禁日時期の制限、免許なしは禁止など細かく定められていることについての英語は、じめ外国語発信は?である。森林・林業分野での発信であつても環境省とセットでなければならぬ。元々環境省の前は環境庁、その前は林野庁でも所管していた。レンジャー制度が出来た時、林野庁職員が大量にレンジャーへ異動したことを忘れてはならないと思う。

この内容が、世界に伝われば、日

本がリーダーで、日本発の国際基準が出来るとも知れない(私の思い込みか?)。COPでの、伐採即CO2排出であつたところから、HWPのカーボンストックを日本から提案したことを忘れてはいけないと思う。

日本人が野生動物を好きなのは、童謡を思い出せばわかる!!「カラス何故なくの」カラスは山に♪可愛い七つの子があるからよ♪「ぼっぽぼっぽ」ハトっぽっぽ♪豆が欲しいか♪そらやるぞ♪みんなで仲良く食べに来い♪「ある日♪森の中、熊さんにであつた♪」「げんこつ山のためきさん」や「へびのしっぽ」「みみずの歌」まである。子供の頃から動植物を仲間として大切にしているのである。好きなキャラクターも「くまのプーさん」「スヌーピー」「キティちゃん」と多数ある。世界の森林科学者(行政)、環境科学者(行政)に向けて情報発信だー!!パン主食の欧米人が情報発信無しの菓子パン食べてビックリしたように!!

令和7年6月分の販売実績

樹 種	合板・LVL用			製材・集成材・その他用			計		
	当月出荷量 (m³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)	当月出荷量 (m³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)	当月出荷量 (m³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
ス ギ	11,630	94.3	93.5	17,512	125.3	132.3	29,143	110.8	113.5
カラマツ	7,922	104.4	129.1	303	409.9	68.1	8,225	107.3	125.0
アカマツ	1,051	39.1	49.1	0	0.0	0.0	1,051	38.9	47.1
その他	8	53.0	*	266	266.1	195.0	274	238.8	200.7
合 計	20,610	91.1	99.5	18,082	127.7	130.0	38,692	105.2	111.8

樹 種	燃 料 用		
	当月出荷量 (t)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
ス ギ	2,385	125.8	50.7
カラマツ	3,761	108.1	124.8
アカマツ	305	26.7	42.0
その他	370	36.9	73.1
合 計	6,821	90.7	76.2

樹 種	今 年 度 累 計			
	合板・LVL用 (m³)	製材・集成材・その他用 (m³)	計 (m³)	燃 料 用 (t)
ス ギ	36,851	44,893	81,744	6,716
カラマツ	21,123	514	21,637	10,968
アカマツ	7,255	56	7,311	2,296
その他	22	686	709	2,407
合 計	65,251	46,150	111,401	22,388
目標達成率(%)	26.1	24.9	25.6	18.7
計 画 量	250,000	185,000	435,000	120,000

注)*印は前月又は前年同月実績がなかったことを示す。

【令和7年7月の需給動向】

- 集成材、製材工場はスギが不足の状況！工場在庫は少なく、広域な集荷も行う。
- 合板工場はカラマツ、アカマツが不足の状況！虫害や青変菌を注意しながら集荷を行う。
- 原木の不足が深刻化しており、一部の工場では原木価格を引き上げて集荷に努めている。

耳からウロコ

昭和のアイドル

中三トリオから林業？

ーこの分析は、初めてかなあー

昭和のアイドルで有名なのは、桜田淳子、森昌子、山口百恵の中三トリオである。その後の超有名アイドルも誰でも知っている、松田聖子、中森明菜である。

何か林業と関係ある？実は、5人の名字を再チェックしてみると、「桜」「森」「山」「松」となっており、森林、林業に関係する名字ばかりである。おっと！忘れるところだった。中山美穂、松本伊代、木ノ内みどり、柏原芳恵(「山」「松」「木」「柏」もいたなあ。ううん。明治期にすべて名字帯刀許された時の日本の風景は、山・森に囲まれ、庭には、松・桜の木が植えられていたからかなあ？男性アイドルでも、森田健作、本木雅弘、東山紀之もいるし、当時、一世風靡したフオークソング・ニューミュージックでも、北山修、松山千春、杉田二郎、松任谷由実(当初は荒井由実)、森山良子、竹内まりあ、山下達郎、山本コータロー、杉山清貴と沢山思い出される。「森」「山」「木」にまつわる記念アルバムも可能かな？

この中でも、「松」の字が多い。何故

だろう？名字を付ける時に松の山や木が多かったのは、間違いないと思うが、やはり「松・竹・梅」という縁起担ぎの中のトップが「松」だからかもしれない。

日本料理店でも、高い順に「松」↓「竹」↓「梅」である。この語源は、中国における「歳寒三友」からだという。冬の寒い時期でも鮮やかな緑の葉っぱの「松」と「竹」、春に真っ先に花を咲かせる「梅」で、素晴らしいことからだといわれる。

「松は長生き」「竹は真つすぐな性格」「梅は気品や明朗さがよい点」と言われている。人間としての夢と希望を現わしている。その結果、下の名前にも使われている。たかなく？祖父父母の時代には、「マツさん」「タケさん」「ウメさん」が沢山いた。父母時代は「松子さん」「竹子さん」「梅子さん」も沢山いましたね。

念のため日本の名字ランキング30位内で検索：(2位)鈴木、7位)山本、9位)小林、13位)佐々木、14位)山口、15位)松本、17位)木村、18位)林、21位)山崎、24位)橋本、27位)山本の11件でした。アイドルの漢字とはあまり重ならないなあ。本名と芸名もあるかも？それにしても、やはり日本人は「山」「森」「林」「木」に関係の深い人々である。

山や森を見て、林業に関心を持ち、木を使うことにJAPAN再ダッシュしよう!!特に「松」は大切に。(名字鈴木の気持ち)